

バイバイバブリー

阿川 佐和子
文藝春秋

バブル景気の恩恵をこうむった記憶がほとんどないアガワさんがその頃をもとにいろいろと回顧する30編のエッセイ。タイトルに「バブル」と冠しながら、本文には「吝嗇(りんしょく)」=けち という単語が度々登場するのも、浪費ということに過度の罪悪感を覚えるアガワさんらしいところ。クスッと笑えて共感するエピソードが満載です。

**ふるさと呼んでもいいですか
6歳で「移民」になった私の物語**

ナディ
大月書店

近年、耳にすることが多くなった移民の話題。日本にも、移民として暮らす人々が多く存在しています。この本の著者は、6歳のとき家族5人でイランから日本へ移り住んだナディ。「見た目は外国人、文化は日本人、そんな私のふるさととは日本。」異文化ルーツの当事者が直面するリアルな日常と想いに触れる。

ソロキャンプ入門

JTBパブリッシング

最近よく聞く「ソロキャンプ」。興味はあるけど、どこから手をつければいいのかわからない… そんな初心者向けに、最初に揃える道具からテントの張り方、キャンプ飯レシピや暑さ・寒さ対策、キャンプ場でのルール・マナーまで、幅広い内容が詰まった一冊です。自然の中でひとり時間を楽しんでみませんか。

子どもおうちあそび大全

横山 洋子
永岡書店

新型コロナウイルスの影響で、長いおうち時間。こどもとの時間を楽しむため、あそびのバリエーションを増やしてみませんか？幼稚園・小学校の教諭として17年間の現場を経験した著者が0~2歳を対象にした年齢別おうちあそびを紹介します。特別なおもちゃがなくても、おうちあそびを楽しみましょう。

こちらの本は、毎月発行しているたいとうライブラリーニュース(メールマガジン)で過去に紹介した本から選んだものです。最新のおすすめ本はたいとうライブラリーニュースで配信しています。詳細は右記のQRコードをご参照ください。



図書館だより vol.2

図書館での講座・イベントの実施と感染症対策について

講座やイベントを実施しています

図書館では、コロナウィルス感染症対策を講じたうえで順次講座やイベントを再開しております。

また、Zoomを使用したオンラインでの講座の開催や、動画の配信も行っております。

これからも充実させてまいりますので、是非ご参加ください！

来館イベント

郷土企画展(ギャラリートーク)
池波正太郎記念文庫講座

自宅で視聴

読み聞かせ講習会(オンライン講座)
あかちゃん絵本タイム(動画配信)



検温機能付き消毒機を設置しました

検温機能を備えた非接触型の手指消毒機を全館で導入しました。なお、マスクの着用等感染症対策も引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

皆様のご来館をお待ちしております。

区内各図書館のご案内

中央図書館

西浅草 3-25-16
生涯学習センター1階・2階
TEL:5246-5911

浅草橋分室

浅草橋 2-8-7
浅草橋区民館2階・3階
TEL:3863-0082

谷中分室

谷中 5-6-5
谷中防災コミュニティセンター3階
TEL:3824-4041

根岸図書館

根岸 5-18-13
都営根岸5丁目アパート2階
TEL:3876-2101

石浜図書館

橋場 1-35-16
3階・4階
TEL:3876-0854

すこやかとしょじつ

東上野 4-22-8
台東保健所3階
TEL:3847-3087

くらまえオレンジ図書館

蔵前 4-14-6
環境ふれあい館ひまわり6階
TEL:3865-3201

「レファレンス」って何？

図書館をご利用されない方は、「レファレンス」という言葉自体を聞いたことがないかもしれません。

レファレンスサービスとは、調べもののお手伝いをすることです。

必要な情報・資料を必要とする人に、図書館員が探す手助けをすることをいいます。探している本が見つからない、調べものをしていて、どの本を読めばいいのか分からないなど、困ったことはありませんか？ そんなときは、お気軽にカウンターにご相談ください。

例えば……

- ・ 図書館の利用案内
- ・ 各種データベースの利用方法
- ・ 特定の事柄の調査
- ・ 他の情報機関の紹介
- ・ 文献の探し方
- ・ 資料の所在調査
- ・ 特定のテーマについての文献探索支援 など

実際のレファレンス事例 (レファレンス協同データベースより)

上野「アメ横」の由来について

昭和21年5月頃、アメ横のベースとなる“近藤産業マーケット”が発足
 昭和22年頃、アメを売る店舗が増え、“近藤産業マーケット”を中心とした一帯が「アメ屋横丁」と呼ばれる。
 昭和25年頃、朝鮮戦争勃発に伴い駐留米軍が増え、米軍の将校から流出する品物が売られるようになり、アメリカ横丁という意味で「アメ横」と呼ばれるようになる。

【参考資料】「アメ横の35年の激史」 塩満一 著 東京稿房出版 1982
 「絵と写真でたどる台東の文化と観光」 台東区発足60周年記念事業検討委員会記念誌部会 編 台東区 2007
 「アメ横ニキニキ商法」 二木源治 著 ごま書房 1975
 「アメ横の戦後史：カーバイトの灯る闇市から60年」 長田昭 著 ベストセラーズ 2006

うさぎを数えるときに「1匹」ではなく「1羽」と数えるのはなぜか？

『コドモの常識ものしり辞典』第1巻ことばの文化のふしぎQ&A (日本図書センター2010年)によると、昔、日本では仏教の影響で肉食が避けられていたが、うさぎは許されていたので、うさぎも鳥のように数えることで見逃してもらったと言われている。また耳を束ねて持ち歩いたため「1把」と数えたからとも言う。

【参考資料】「コドモの常識ものしり辞典 第1巻 言葉と文化のふしぎQ&A」 日本図書センター 2010
 「数え方と単位の本 第3巻 生き物」 学研 2006

中央図書館 1階

池波正太郎記念文庫

池波正太郎記念文庫は、江戸の下町を舞台にした「鬼平犯科帳」など時代小説の傑作を多数発表した、池波正太郎の業績や作品の世界を広く伝えるため、平成13年9月26日に開設しました。作品に関するさまざまな資料を収蔵し、書斎の復元や著作・自筆原稿・絵画等の一部を常設展示しております。また、時代小説コーナーを設け、戦前の貴重本から現代の人気作品まで時代小説に関する資料を収集し、公開しています。



中央図書館 今後のスケジュール (2021年10月現在)

